

第三者評価結果

①第三者評価機関名

評価機関認証番号 石川県07-014

社会福祉法人 金沢市社会福祉協議会

(訪問調査日：平成24年4月17日(火))

②事業者情報

名称： 社会福祉法人ひばり保育園 ひばり保育園	種別： 保育園
代表者氏名：理事長 源 通	定員(利用人数)： 90人
所在地：〒921-8149 石川県金沢市額新町2丁目124番地	

③総評

◇特に評価の高い点

1. 中長期計画に、年度毎の達成目標や課題解決に向けた具体的取り組みを定めている。また、事業計画は、保育内容、職員体制、人材育成、施設整備、財務体制等の現状を踏まえて策定している。職員会議や理事会で、その進捗状況を確認し、必要に応じて見直す等、着実に実行している。
2. 職員の意欲と保育サービスの質の向上を図るため、職員会議、ケース会議、クラス会議、異年齢児保育会議、給食会議など職員が話し合う機会を定期的に設けている。業務を改善するためのしくみを整備し、職員全員で取り組んでいる。
3. 毎月、公認会計士による指導を受けて経営状況を確認している。その状況を、職員会議や理事会で報告し、透明性の高い保育園運営を行っている。
4. 毎月2回、保育園を開放し、未就園児と在園児の交流やベビーマッサージ教室（0歳児の親を対象とした親子のふれあい事業）、高齢者を招いての伝承遊びなど地域住民との交流や子育て家庭の支援に取り組んでいる。チラシや保育園の掲示板、ホームページにより、その様子を地域に発信している。
5. 調理室の壁の一部が全面ガラス張りとなっており、子ども達はいつでも調理の様子を見ることができる。昼食時には、調理員がメニューの説明や行事食の由来を説明するなど食に対する興味関心を喚起している。
6. 鈴、タンバリン、トライアングル、太鼓、マラカス、ミニピアノ、ピアノカ、ウクレレ、ウッドブロック、ギターなど多数の楽器があり、0歳児の頃から子どもの興味関心に応じて触れたり、鳴らすことができる。手作り楽器で演奏会をするなど音楽を通じた情操教育に力を入れている。
7. 火災、地震、水害、雪害、不審者侵入を想定した避難訓練を行っている。実施した避難訓練を子ども達と共に振り返り、クラス単位での避難訓練も実施している。また、保育園の設備や遊具を毎夕職員が見回るなど、安全・事故防止に取り組んでいる。

◇改善を求められる点

1. 地域の福祉ニーズをより具体的に把握するために、民生委員・児童委員との情報交換の場を定期的に設けることが望まれる。
2. 個別面談や保育参加、試食会など、保護者の意向把握に努めているが、把握した意向に基づき取り組みを点検し、更に利用者満足度を向上させるため、定期的に利用者調査を行うことが望まれる。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、第三者評価を受審したことで、改めて当園の保育を見直す事が出来ました。これからも、保育の質の向上・保育サービスの改善に努め、職員一同協力して取り組んでいきたいと思っております。ありがとうございました。

<参考：利用者アンケート実施状況>

実施期間	平成24年2月7日（火）～2月24日（金）
送付数	80通
回答数	59通（回答率73.8%）

⑤評価細目の第三者評価結果（別添）

評価細目の第三者評価結果(ひばり保育園:保育所共通評価基準)

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果	コメント
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
① 理念が明文化されている。	○ a b・c	・ 保育理念である「願い(こんな人になってほしい、こんなふう生きていってほしい)」が明文化されている。
② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	○ a b・c	・ 保育理念に基づく保育目標「やさしい心・つよからだ」が明文化されており、その柱として「感謝をする子(ありがとう)」、「友だちと仲よく遊べる子」、「健康でたくましい子」の方針が明文化されている。
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
① 理念や基本方針が職員に周知されている。	○ a b・c	・ 毎月の職員会議で、保育理念、基本方針、保育目標の確認を繰り返し行い、職員に周知されている。また、入園のしおり、入園あんない、ホームページ、園だより等を通じて利用者等に周知されている。
② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	○ a b・c	

I-2 計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
① 中・長期計画が策定されている。	○ a b・c	・ 中・長期計画が策定されている。その中で、課題や長期目標、中期目標、具体的に取り組むべき項目がまとめられている。
② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	○ a b・c	・ 事業計画は、中長期計画で定めた具体的に取り組むべき項目(保育内容、組織体制、設備体制、人材育成、財政体制)を踏まえて策定されている。

評価細目の第三者評価結果(ひばり保育園:保育所共通評価基準)

I-2 計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。		・ 毎月の職員会議、職場内研修などを通して事業実施状況を評価・分析し、次年度の事業計画案を策定している。最終的に理事会で協議し決定している。
① 計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ b・c	・ 事業計画は、職員会議や保護者会、新入園児説明会等を通じて職員や利用者に周知されている。また、保護者へは、園だよりやホームページを通じて、わかりやすく伝える工夫を行っている。
② 計画が職員や利用者に周知されている。	Ⓐ b・c	

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	コメント
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		・ 職務分担表において、管理者としての園長の役割と責任が明記されている。職員会議において園長がこれを表明している。
① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ b・c	
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	Ⓐ b・c	・ 園長は県・市等が主催する施設長研修や法令遵守に関する研修等に出席し、遵守すべき法令等について職員会議で説明している。
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		・ 園長は、職員会議、職場内研修を通じて、意見をまとめ、全体で協議し、業務の効率化と改善に取り組むとともに、保育サービスの向上にリーダーシップを発揮している。
① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	Ⓐ b・c	
② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組みに指導力を発揮している。	Ⓐ b・c	・ 職員会議に加え、クラス会議、異年齢保育会議、給食会議などチームミーティングを定期的に行っている。全職員が、いずれかのチームミーティングのメンバーに属している。

評価細目の第三者評価結果(ひばり保育園:保育所共通評価基準)

調査対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

		第三者評価結果	コメント
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a・b・c	・ 園長、主任保育士は、行政や関係機関が主催する研修への参加や地域の会合等での情報交換等を通じて、事業経営を取り巻く環境の把握に努めている。また、社会福祉関係団体からの情報収集などを通じて、社会福祉事業全体の動向を把握している。
②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a・b・c	・ 園長は、毎月の在園児数の推移、職員の配置状況等を把握・分析し、経営に活かしている。 ・ 園長は、職員会議において保育サービスの内容や施設整備等改善すべき課題を明らかにし、改善に向けて取り組んでいる。
③	外部監査が実施されている。	a・b・c	・ 公認会計士による指導を毎月受け、経営状況の分析を行い、改善に向けた取り組みを行っている。

Ⅱ-2 人材の確保・養成

		第三者評価結果	コメント
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。			
①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a・b・c	・ 中・長期計画の中に、目指すべき組織体制(必要な職員体制)や人材育成について位置づけている。
②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a・b・c	・ 園長は、考課の意義や基準について職員に説明したうえで人事考課を実施し、職員の仕事への意欲を喚起している。

評価細目の第三者評価結果(ひばり保育園:保育所共通評価基準)

II-2 人材の確保・養成

		第三者評価結果	コメント
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			<ul style="list-style-type: none"> ・ 有給休暇取得状況や超過勤務の状況など職員の就業状況を定期的に確認し把握している。また、職員との個別面談等により就業に関する意向を把握している。これらのことを踏まえ、就業状況の改善につなげている。 ・ 職員の福利厚生のため、社会福祉事業従事者互助会制度(退職金・貸付)に加入している。また、エプロンの支給や職員の食事会開催などに取り組んでいる。
①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	○ a・b・c	
②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	○ a・b・c	
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			<ul style="list-style-type: none"> ・ 中長期計画や保育目標の中に、人への思いやりを持ち、何事にも積極的に取り組むことができる人材の育成を目指すことを基本姿勢として明示している。 ・ 経験年数毎に分類した職員キャリア形成計画があり、この計画に基づき、職員一人ひとりの年間研修計画を策定している。また、定期的に研修計画の見直しを行っている。
①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	○ a・b・c	
②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	○ a・b・c	
③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	○ a・b・c	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。			<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習生受け入れマニュアルに意義、方針など基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。 ・ 事前に実習生と打ち合わせをして計画をつくっている。実施後は、担当職員が本人とともに評価をして、必要に応じてプログラムを修正している。
①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	○ a・b・c	
②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	○ a・b・c	

評価細目の第三者評価結果(ひばり保育園:保育所共通評価基準)

II-3 安全管理

		第三者評価結果	コ メ ン ト
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。			
①	緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理マニュアルを整備し、職員会議、職員研修を通じて繰り返し研修している。管理者及び各担当職員の役割を明確にしている。また、安全管理マニュアルは、定期的に見直しをしている。
②	利用者の安全確保のためのリスクを把握し対策を実行している。	a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務を通じて報告されたヒヤリハット事例は、職員会議で発生原因を分析し、未然防止策を検討している。また、これらの事例を、利用者の安全確保のため研修に生かしている。

評価細目の第三者評価結果(ひばり保育園:保育所共通評価基準)

II-4 地域との交流と連携

		第三者評価結果	コメ ン ト
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	○ a b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中・長期計画に「地域の中の保育園を確立し、地域ぐるみでの子育てを行うことにより、子どもの健全な成長を促進する」と明示している。 ・ ベビーマッサージ（0歳児の親を対象に助産師の協力を得て行う親子ふれあい事業）等を通して、子育て相談を実施する等、地域の子育て支援に取り組んでいる。 ・ ボランティア受け入れマニュアルにより、受け入れに関する基本姿勢を明確にし体制を確立している。
②	事業所が有する機能を地域に還元している。	○ a b・c	
③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	○ a b・c	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			
①	必要な社会資源を明確にしている。	○ a b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所、児童相談所、警察、総合病院などの関係機関、団体の連絡先をリスト化し、事務室に掲示している。また、これらの社会資源についての役割や機能について、職員間で情報の共有化が図られている。 ・ 地元小学校との「年長さんを迎える会」に参加したり、運動会などに参加している。また、毎年、小学校の教諭と職員が意見交換するなどの機会を設けている。
②	関係機関等との連携が適切に行われている。	○ a b・c	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			
①	地域の福祉ニーズを把握している。	a ○ b c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民への子育て相談事業を通じて、地域の子育てニーズの把握に努めている。 ・ 現在、地域の民生委員児童委員と連携した取り組みは行われていない。
②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	○ a b・c	

評価細目の第三者評価結果(ひばり保育園:保育所共通評価基準)

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果	コメ ン ト
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育理念や保育方針に、一人ひとりの子どもを尊重した保育サービスの実施について明示している。また、このことを、入園のしおりやホームページに掲載している。 ・ 守秘義務、プライバシー保護に関する規程・マニュアルを整備している。また、職員会議等を通じて、職員に周知している。
①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	○a・b・c	
②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	○a・b・c	
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。			<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育参加、個別懇談、行事後の利用者アンケートにより利用者満足度の把握に努めている。 ・ 今回の第三者評価受審査を通じて総合的な利用者調査を行った。この調査で整理した課題の改善状況を確認し、更に利用者満足度の向上が図れるよう定期的に利用者調査を行うことを期待する。
①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	○a・b・c	
②	利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者調査の結果について、職員会議等で分析し、改善点の整理や対応を検討する仕組みを整備している。
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ご意見・ご要望における際の第三者委員の役割について」のわかりやすい文書を作成し、玄関の掲示板に掲示している。さらに、気軽に相談できる旨を記載した文書を保護者に配布するなどの取り組みを期待する。 ・ 苦情等の受付から解決に至る仕組みを説明した文書を玄関の掲示板に掲示している。園長が苦情解決責任者、主任保育士が苦情受付担当者、監事2名を第三者委員として苦情受付の体制を整備している。
①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	○a・b・c	
②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	○a・b・c	
③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	○a・b・c	

評価細目の第三者評価結果(ひばり保育園:保育所共通評価基準)

Ⅲ-2 サービスの質の確保

		第三者評価結果	コメ ン ト
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。			
①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	○ a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議において、職員が意見や提案をする機会を設けている。園長、副園長は必要に応じて職員と面談し、個別に意見や提案を聞いている。 保護者との個別面談、連絡帳、行事終了後の保護者からのアンケート結果や、日々の保護者等からの意見をふまえて、保育サービスの内容について職員会議、職場内研修を通して課題を整理し、改善計画を立てて実施している。
②	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	○ a・b・c	
③	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	○ a・b・c	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。			
①	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	○ a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> 個々のサービスの標準的な実施方法は、保育士マニュアル、給食室の安全管理マニュアルに明示され、職員会議、職場内研修を通じて繰り返し周知されている。必要に応じて改善、見直しが行われている。
②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	○ a・b・c	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	○ a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりについて児童票、歯口腔検査診断票、発達状況記録等の書面にきめ細かく記録されている。毎月の職員会議、ケース会議等を通して相互の情報の共有化を図っている。 園規則により、子どもに関する記録管理責任体制を確立している。
②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	○ a・b・c	
③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	○ a・b・c	

評価細目の第三者評価結果(ひばり保育園:保育所共通評価基準)

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

		第三者評価結果	コメント
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページには、日々の保育や年間の主な行事について、その様子が分かる写真や絵等が使われわかりやすく掲載されている。また、保育園紹介ビデオを作成し情報提供に努めている。 ・ サービスの利用開始時には、入園のしおり、入園あんない、利用料に関する資料等により説明し、同意を得ている。入園あんないには、年齢ごとに準備するもの、登降園時の注意事項などが具体的に記載してある。 ・ 変更先の保育園への退所児童の申し送りをし、必要に応じて発達記録等の関係書類を変更後の保育園に届けることがある。
①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	○ a・b・c	
②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	○ a・b・c	
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。			
①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	○ a・b・c	

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果	コメント
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。			<ul style="list-style-type: none"> ・ 各クラス担当は、児童票、児童の発達状況票、乳児用身体発育曲線等の様式により、子どもの身体状況や生活状況を把握している。また、アセスメントに基づき、子ども一人ひとりのニーズや課題を具体的に明示している。 ・ サービス実施計画策定の責任者は園長である。担当職員間で計画案を立て、主任保育士・園長の合議により計画を策定し、保護者の意向や同意を得てサービスを実施している。また、サービス実施状況や保護者の意見等を踏まえ、月2回行うケース会議で定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。
①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	○ a・b・c	
②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	○ a・b・c	
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。			
①	サービス実施計画を適切に策定している。	○ a・b・c	
②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	○ a・b・c	

評価細目の第三者評価結果(ひばり保育園:保育所版内容評価基準)

A-1 子どもの発達援助

A-1-(1) 発達援助の基本

	第三者評価結果	コメント
① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	○a) b・c	・ 「利用者が利用しやすい保育園を目指すとともに、子どもの育ちを常に考えた保育を実現する」という保育の基本方針のもと、「やさしい心・つよいからだ」という保育目標を掲げ、保育計画を作成している。保育計画は前年度の個別懇談会や園開放日に地域の子育て家庭から寄せられた意見を参考にしている。
② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	○a) b・c	・ 指導計画は毎月評価が行われ、翌月の指導計画に反映されている。指導計画には「評価・反省」の欄があり、クラス担任の自己評価の後、主任保育士が評価し、副園長及び園長が確認している。

A-1-(2) 健康管理・食事

	第三者評価結果	コメント
① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	○a) b・c	・ 健康管理マニュアルがあり、子どもの体調変化やけがへの対応、保護者や囑託医に連絡する基準などが定めてある。登園時に子どもの様子を視診し、3歳未満児と体調の優れない子どもは検温し、食事やクラス活動の内容を変更している。また、体調の優れない子どもの状況は書面で全クラスに配布し情報を共有している。
② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	○a) b・c	・ 内科検診の結果や既往症、かかりつけ医などの情報を児童票に記録し、事務室の施錠が出来る棚に保管している。全ての職員が事務室で見ることができる。保護者へは健康診断記録用紙により伝えている。検診結果に基づき給食の量やメニューを調整している。
③ 歯科診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	○a) b・c	・ 歯科検診結果は、歯・口腔検診診断表に記録している。すみやかに他の医療機関で治療ができるよう、歯科検診記録用紙を保護者に配布している。

評価細目の第三者評価結果(ひばり保育園:保育所版内容評価基準)

A-1-(2) 健康管理・食事

	第三者評価結果	コメント
④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	○ a・b・c	・ 感染症に関するマニュアルがあり、各クラスに備えつけてある。感染症が発生した場合は、個人が特定されないよう配慮したうえで、玄関前のホワイトボードへ掲示し、おたよりやメール配信により対処方法や予防策を保護者に知らせている。職員には朝の書面配布や夕方の職員連絡会で知らせている。
⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	○ a・b・c	・ 給食室の一部がガラス張になっており子ども達はいつでも調理の様子を見ることができる。園の畑で採れた野菜を食材にしたり、調理員が誕生会や行事の時メニューの説明をするなどして食への興味・関心を喚起している。また、未満児組では、月齢や登園時間、家での食事時間を考慮し、2グループに分けて食事の時間帯を設け、落ち着いて食事がとれるように工夫している。
⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	○ a・b・c	・ 調理員が子ども達と一緒に食事をする時間を定期的に設けている。給間食日誌や検食簿の記録などからも子ども達の喫食状況を把握し、メニューの作成や調理の工夫に活かしている。
⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	○ a・b・c	・ ホームページ、給食だより、園だよりを通じて人気のあるメニューのレシピや幼児期の食事の大切さを保護者に伝えている。また、子どもの食生活を充実させるため、昨年度までは年1回であった試食会を、今年度からは保育参加後にも実施している。
⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	○ a・b・c	・ アレルギー症状をもつ子どもに対しては、6ヶ月または1年毎に提出される主治医の指示書と指導に基づき、除去食を提供している。見た目通常食と変わらないようにし、除去食のトレーの色を変えたりラップをかけるなど配膳を間違えないよう配慮している。

評価細目の第三者評価結果(ひばり保育園:保育所版内容評価基準)

A-1-(3) 保育環境

	第三者評価結果	コメント
① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	(a)・b・c	・ 各保育室とも明るく風通しが良く、温湿度計が置いてある。トイレや手洗い場は、子どもが利用しやすい高さになっており、使用後は保育士や年長児が床をふき滑らないよう配慮している。安全点検見回り簿により、毎夕、職員が施設設備や遊具を点検している。また、毎月の避難訓練実施日を安全点検日とし、職員全員で安全点検簿に基づき、施設設備と遊具を点検している。
② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	(a)・b・c	・ 3歳未満児は各クラスで食事と午睡を、3歳以上児は遊戯室で食事をし各クラス(5歳児クラスを除く)で午睡をしている。子どもの状況に応じて、午睡の時間帯や場所を変え、柔軟に対応している。

A-1-(4) 保育内容

	第三者評価結果	コメント
① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	(a)・b・c	・ 子どもと目線を合わせ、年齢に応じたわかりやすい言葉で話している。子どもの感情表現は、一人ひとり違うものであることを踏まえ、言葉だけでなく前後の行動や何気ないしぐさから気持ちをくみ取るよう配慮している。
② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	(a)・b・c	・ 衣類の着脱や排泄などの基本的な生活習慣については、子どものペースに合わせている。自分でやろうとする意欲を引き出すために、できたことは繰り返し誉めている。3歳未満児は布オムツを使用し排泄の自立を促している。
③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	(a)・b・c	・ 子どもの発達段階に応じて玩具や遊具が用意しており、自由遊びの時間には保育室、園庭、遊戯室、絵本コーナーなど好きな場所で遊ぶことが出来る。クラス活動でも子どもの様子を見ながら、複数の遊びのコーナーを設けるなど柔軟に対応している。

評価細目の第三者評価結果(ひばり保育園:保育所版内容評価基準)

A-1-(4) 保育内容

	第三者評価結果	
④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園庭の畑や芝生で昆虫を探したり、近くの河川敷を散歩してサギやカモを見つけるなど自然と触れ合う機会がある。園周辺地域の清掃活動(月1回)や園開放(月2回)を通じて近隣住民との交流を図っている。 ・ 年中組と年長組は、高齢者施設への慰問、消防署や小学校の見学、近くの商店での買い物など様々な社会体験の機会がある。
⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるよう配慮されている。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常保育の中でリトミックやリズムダンス、楽器遊び、絵本の読み聞かせや紙芝居などを取り入れている。楽器遊びに関しては、鈴、タンバリン、ウッドブロック、ウクレレ、ギターなど豊富な種類があり、子どもの興味、関心に応じて楽しむことができる。
⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同制作や集団遊び、縦割保育では、他の子どもとの関わりがもてるよう役割やルールを決めて、お互いのつながりが深まるよう配慮している。当番活動など毎日の園生活では、順番を守ることや年下児の面倒を見ることなどを習慣づけている。
⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども一人ひとりとの良い所や頑張っている姿を見つけて、それを子ども達に伝えることで、お互いを認め合う心を育てている。他の子どもを認めることが、相手を思いやる気持ちや感謝する心を育むことを園だよりなどを通じて保護者に伝えている。

評価細目の第三者評価結果(ひばり保育園:保育所版内容評価基準)

A-1-(4) 保育内容

	第三者評価結果	コメント
⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> 性差に関係なく子ども達が自由に遊びを選ぶことができるよう配慮し、集団遊びや当番活動の役割分担は、子ども同士の話し合いで決めている。 乳児クラスは情緒の安定を図るため、なるべく特定の保育士が関わるよう配慮している。連絡帳は24時間サイクルで記入し、子どもの生活リズムを把握したうえで、日々の保育を行っている。衛生管理マニュアル、オムツ交換マニュアルがあり、子どもの体や玩具は清潔に保たれている。
⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> また、午睡中は午睡チェック表に基づき10分おきに様子を確認し乳児突然死症候群の発生を予防するなど、きめ細やかな配慮が見られる。
⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> 17時以降は、0歳児、1歳児、2歳児、3歳児以上の4クラスに分けて少人数保育を行っており、18時15分に軽食を提供している。子どもの健康状態や保護者への連絡事項などは口頭や職員連絡ノートにより遅番の保育士に伝えている。
⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> 現在、障害のある子どもは入所していない。8月と3月を除く月は、職員会議とは別にケース会議を月2回開き、気になる子どもやその保護者との関わり方を協議している。教育プラザ富樫のパンフレットや発達障害に関する研修会のチラシを玄関に掲示し、保護者にも理解を求めている。

評価細目の第三者評価結果(ひばり保育園:保育所版内容評価基準)

A-2 子育て支援

A-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援

	第三者評価結果	コメント
① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え個別面談などを行っている。	○ a・b・c	・ 送迎時の保護者との会話や連絡帳、おたよりなどで日常的な情報交換を行っている。また、9月に個別懇談を行い、新入園児には入園前にも個別懇談を行っている。
② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	○ a・b・c	・ 保護者との情報交換の記録は、必要に応じて連絡帳、保育日誌、個別経過記録に記録している。緊急連絡先や既往症、かかりつけ医などの情報は児童票に記録している。
③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	○ a・b・c	・ 親子遠足、運動会、収穫祭、表現会などの主要行事に保護者を招いている。また、誕生会にも当該児の保護者を招き保育参加を実施している。
④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	○ a・b・c	・ 児童虐待対応マニュアルがあり、各クラスに備え付けてある。問題発見から相談援助までの流れが図式化してある。職員会議でマニュアルの読み合わせを行うほか、参考資料を随時回覧している。
⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	○ a・b・c	・ 児童虐待対応マニュアルには、教育プラザ富樫や警察、病院などの関係機関の連絡先を明示している。

A-2-(2) 一時保育

	第三者評価結果	コメント
① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	○ a・b・c	・ 一時預かり児の年齢に応じてクラス担任の中から担当者を決めている。通常保育と同じ保育室で預かり、その子の様子を見ながら、集団に馴染むように配慮している。 ・ 在園児と同じように送迎時の会話や連絡帳により、その日の子どもの様子を保護者に伝えている。個別に相談があった場合は、プライバシーに配慮し事務室で対応している。

評価細目の第三者評価結果(ひばり保育園:保育所版内容評価基準)

A-2-(3) 地域における子育て支援

	第三者評価結果	コメント
① 地域の保護者等に対する子育て支援を行っている。	(a) b・c	・ 月2回程度保育園を開放し、未就園児の親子を対象に「ふれあい保育」を行っている。園行事への参加、伝承遊び、ベビーマッサージ教室、野菜の栽培などを通じて子育て支援を行っている。パンフレットやホームページ、園庭掲示板によりふれあい保育の予定や様子を地域に発信している。

A-3 安全・事故防止

A-3-(1) 安全・事故防止

	第三者評価結果	コメント
① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	(a) b・c	・ 毎月の避難訓練実施日に、衛生管理マニュアルや安全点検簿などにより点検している。点検結果は、主任保育士、副園長、園長に報告され、職員会議でその情報を共有し、改善策を検討している。
② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対処方法については、全職員にも周知されている。	(a) b・c	・ 食中毒発生時の対応マニュアルがあり、関係機関や保護者への連絡方法などが定めてある。食中毒が発生しやすい梅雨前とインフルエンザが発生しやすい冬季前の職員会議で、マニュアルの読み合わせと見直しを行っている。
③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	(a) b・c	・ 各クラスにヒヤリハット報告書があり具体的事例を集約している。週単位で園全体に回覧し情報を共有している、月2回ケース会議を開き、未然防止策を検討するとともにその効果を検証している。
④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	(a) b・c	・ 災害対策マニュアルがあり、事故別、災害別の対応方法を定めてある。マニュアルに基づき月に1回避難訓練を行い、年に1回マニュアル見直しと食糧や飲料水等の備蓄品を点検している。
⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	(a) b・c	・ 安全対策マニュアルの中に不審者侵入時の対応が定めてある。年に1回職員会議で見直しを行っている。110番非常通報装置が設置しており、非常時には直通で連絡することができる。